

## 240827\_2 学期始業式

みなさん、おはようございます。

暑さ対策として、今回は3年2組がLL教室で、他のクラスは教室での始業式としております。

夏休み中、大きな事故の報告もなくこの始業式を迎えることができ、安心しております。

本日も熱中症警戒アラートが発表されております。また、局地的な大雨、いわゆるゲリラ豪雨も各地で起きています。この2学期も、事故や気象に気をつけて、安全に過ごしていきましょう。

今年はオリンピックイヤーということもあり、8月17日の京都新聞に本校の卒業生の大江季雄選手に関する記事が掲載されました。記事のために、本校の陸上競技部員も取材を受けてくれました。そのなかで、第一体育館前にある大江選手の銅像の台座に刻まれた「努力と友情」という言葉について、触れられています。本日は、この「努力」について、お話をしたいと思います。

次のような言葉があります。

「努力したとしても、報われるとは限らない。しかし努力しなければ、報われることはない。」

聞いたことのある人も多いと思います。わたしもこの言葉を多くの生徒たちに伝えてきました。今年の夏の甲子園、開会式での選手宣誓で、宣誓者である智辯和歌山高校の主将は、次のように述べられました。

「努力したとしても報われるとは限らない。しかし、努力しなければ報われることはない。この言葉に励まされ、僕はここに立つことができました。そして、これからもこの言葉を胸に、最後まで戦い抜いていきます。」

何に対して努力するか、また、努力の方法は人によって違うと思いますが、西高のみなさんには、自分が大切にしていること、成し遂げたいことに対して努力を重ねてほしいと思っています。

努力をしないと、困難を乗り越える経験、成功体験、達成感を得ることはできません。達成感を得られるような経験をすれば、別の場面、初めて取り組むこと、嫌なことにも継続して努力できるようになると思います。

また、自分が努力することで、他人の努力を理解できるようになり、そこに敬意を払うことができます。最近のスポーツシーンでよく見かけられる、勝負に敗れても相手の勝利を称えることができる敗者や、自分たちの勝利を喜ぶだけでなく敗者を思いやる言葉かけができる勝者、そういった振る舞いができるようになります。

みなさんには、努力の尊さを共有できる人間であってほしいと思います。さらには、「努力は裏切らない」と胸を張って言える経験をしてほしいと願っています。

9月5日から学校祭が始まります。みなさんの青春の思い出となる学校祭にしてほしいと思います。課題や困難を乗り越え、個人の頑張りが束となり、各団の団長、クラスでの取組の代表、生徒会本部役員がリードし、チームワークを発揮して、大きな感動に導いてくれることを期待しています。

3年生は、学校祭が終われば、就職、進学に向けて本格的に受験モードに切り替わっていきます。「受験は団体戦」と言われることがあります。お互いに支えあうことはありますし、先生方もいろいろな力を貸してくれます。しかしながら、結果を左右する最大の要素は「個人の強さ」だと思います。単に学力面での強さだけではなく、「力を発揮する力」といった精神面での強さも必要です。進路を切り拓く過程を通じてそれらを身に付け、成長してくれることを期待しています。

この夏に勉強を頑張った分の成果は、2・3カ月ぐらい経って、目に見えてきます。「あせらず、あわてず、あきらめず」、前に進んでいきましょう。

この2学期は、学校祭に始まり、部活動では新チームによる試合となり、2年生は修学旅行が控えています。ほかにも様々な行事があります。西高生一人一人にとって、充実した2学期となることを願い、2学期始業式の式辞とします。

令和6年8月27日

西舞鶴高等学校 校長 田邊仁司